



2011年 7月 28日  
独立行政法人海洋研究開発機構

## 東北地方太平洋沖地震震源海域での有人潜水調査船「しんかい6500」による 調査の開始について（お知らせ）

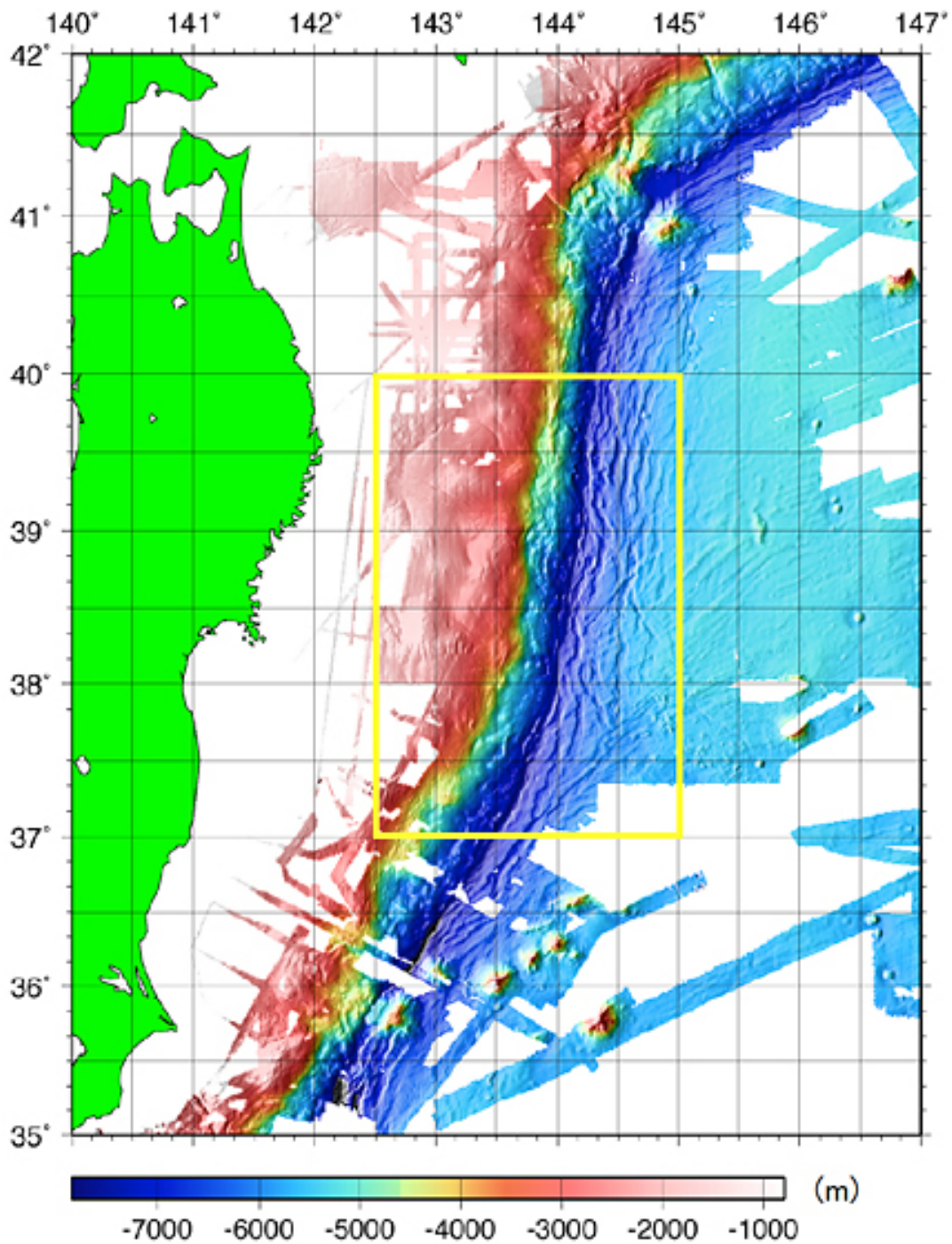
独立行政法人海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）は、東北地方太平洋沖地震震源海域における、有人潜水調査船「しんかい6500」（以下「しんかい6500」という）による調査研究に着手し、継続的に調査を行います。

潜航調査に際しては、事前の状況確認を行い、安全確保を図りつつ実施します。従って、現場の状況により、潜航しない場合もあります。

調査結果につきましては、まとめ次第、随時、報告します。

### 記

1. 日程 : (第1回調査。第2回以降の調査については、結果の報告のみとします。)  
平成23年7月30日 当機構横須賀本部出港  
8月14日 青森県八戸港入港  
※気象条件や調査の進捗状況等によって変更の場合があります。
2. 海域 : 三陸沖海域 (図1)
3. 参加外部機関 : 琉球大学、国立科学博物館、千葉大学大学院、京都大学大学院、東京大学大学院
4. 実施予定内容 : 「しんかい6500」による地形・地質調査および深海生物、海水、堆積物等のサンプリング



**図1 調査海域**

三陸沖の以下の4点で囲まれる海域（水深：1,600m～7,500m）

（三陸海岸東方の日本海溝海域）

37°00.0'N 142°30.0'E , 40°00.0'N 142°30.0'E

40°00.0'N 145°00.0'E , 37°00.0'N 145°00.0'E

お問い合わせ先：

独立行政法人海洋研究開発機構

（報道担当）

経営企画室 報道室 奥津 光